



光化学オキシダントにご注意ください!

光化学オキシダントってなに?

工場のばい煙や自動車の排ガスに含まれる窒素酸化物などが、紫外線を受けると化学反応を起こし、オゾンを主成分とする「光化学オキシダント」が生成します。

濃度が高くなると、「光化学スモッグ」と呼ばれる白くモヤがかかったような大気の状態になります。

一般的に、春から秋にかけて①日差しが強く、②気温が高く、③風の弱い日に濃度が高くなりやすい傾向にあります。

どうして沖縄でオキシダントが高くなるの?

本県では3月から6月にかけて最もオキシダントの濃度が高くなります。大陸からの移流による越境大気汚染が一因だと考えられており、近年は九州でも注意報が発令されています。全国的にも注意報発令地域が広域化する傾向にあります。

なお、本県では過去に注意報が発令されたことはありません。(平成23年2月現在)

体にどんな影響があるの?

オキシダントの濃度が高くなると、人によっては次のような症状が出る場合があります。

- ・ 目がチカチカする、目が痛い、涙が出る
- ・ のどが痛い、せきが出る、息苦しい
- ・ 吐き気がする、頭痛がする など

光化学オキシダント注意報についておしえて

オキシダントの濃度が高くなった場合※、県民の健康への影響を防ぐため、県が「光化学オキシダント注意報」を発令します。テレビ、ラジオ、市町村の防災無線や広報車などでお知らせします。

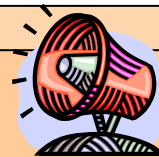
本県では南北大東村を除く39市町村を、①北部地域、②中部地域、③南部地域、④宮古地域、⑤八重山地域に区分し、地域単位で注意報を発令します。(詳細は環境保全課HPを参照)

他府県では、注意報が発令された日に、**体育の授業や運動会が中止**になった事例があります。

※1時間値濃度 0.12ppm 以上

もし注意報が発令されたらどんなことに気をつけられるの?

- ・ 屋外での激しい運動はひかえましょう
- ・ 眼疾患・呼吸器疾患のある方やお体の弱い方は外出をひかえましょう
- ・ 風が入らないよう窓を閉めると予防に効果的ですが、熱中症には気をつけましょう
- ・ 目やのどに痛みなどを感じたら、洗眼やうがいをおこないましょう
- ・ 重症の場合や症状が回復しない場合は、速やかに医師の診察を受けましょう
- ・ オキシダントによると思われる体の不調があった場合は、保健所に報告しましょう



沖縄県 環境生活部 環境保全課

TEL 098-866-2236 ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/kankyohozen/index.html>

○北部保健所 0980-52-2636 ○中部保健所 098-938-9787 ○中央保健所 098-836-1340

○南部保健所 098-889-6799 ○宮古保健所 0980-72-3501 ○八重山保健所 0980-82-3243